



## 子どもたちのために

学校のホームページはこちらから →



先日、いつものように子どもたちを昇降口で迎えていると、交通指導員の大嶋さんが歩いて来られました。大嶋さんは16年という長い間、毎朝、宿町から古野町交差点までの登校時刻に交通指導をしてくださっている方です。大嶋さんは「3月で交通指導員を辞退することになりました。」と言って、お手紙を渡されました。いただいた手紙の中には、「大きな事故がなくてよかった。」「子どもたちの明るい朝の挨拶に元気をもらい、感謝している。」と書かれていました。



北小の子どもたちは大嶋さんを始めとする交通指導員のみなさん、見守り隊のみなさん、地域のみなさんの支えで、安全に登下校できるのだと改めて実感しました。みなさん、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

大嶋さんは今後も見守りは続けていただけるとのことです。長い間ありがとうございました。

## 北小逃走中

10日(日)、PTA主催で「北小逃走中」を行いました。子どもたちに楽しい思い出を作りたいという思いで、久しぶりに開催されました。たくさん子どもたちが参加しました。とっちゃんに捕まった校長を救い出すため、いくつかのミッションをクリアし、最後は校長が閉じ込められた檻の鍵を見つけて、助け出してくれました。どの子も楽しそうにハンターから逃げていました。ハンター役のお父さん、お母さん、企画してくださった役員のみなさん、ありがとうございました。大きなケガもなく、無事に開催できて良かったです。



## 校長のひとりにと

校庭の隅で見つけました。朝の冷え込みはまだまだ寒いですが、もう春なんです。1年が経つのは早いものです。歳を取ると時間の進みが早くなるのは、どうしてでしょうか。ある職員は、「年齢分の1年」で時の感覚があるからだと言っていました。6年生は12分の1年、私は57分の1年。歳を取ればそれだけ1年を短く感じるんだそうです。そう考えると子どもたちの何倍も早く時間が過ぎていくことになりますね。ちょっと納得しました。

